

NEWS RELEASE

平成28年5月30日

月刊文化冊子『近畿文化』800号発刊と記念講演会の開催について

近鉄グループホールディングス株式会社が主催の「近畿文化会」が発行する月刊文化冊子『近畿文化』は、昭和24年10月の創刊以来発刊を続け、本年7月号で800号となります。これを記念して『近畿文化』800号発刊記念講演会を開催します。詳細は別紙のとおりです。



『近畿文化』100号～700号記念号



臨地講座の様子



『近畿文化通信』第1号

《近畿文化会および『近畿文化』について》

1. 近畿文化会の概要

- (1) 沿革 昭和6年(1931)
古文化研究団体「大和國史會」設立(創設者 元吉野鉄道(株)社長 阪本猷)
設立後、近鉄の前身会社、大阪電気軌道(大軌)・関西急行鉄道(関急)の援助・
協力を受けて会誌『大和志』発刊、講座・講演会の開催等を行いました。
昭和24年(1949)
大和國史會を母体に、近鉄の文化事業を包含して「文化財愛護の心を養い、歴史的
知識を高める」ことを目的に「近畿文化会」が発足。
以後、近鉄の文化事業として67年間活動を続けています。
- (2) 活動内容
- ・専門講師の執筆による月刊文化冊子『近畿文化』の発行
 - ・文化財を訪ねる臨地講座(専門講師が解説する現地説明会)を開催(毎月2回以上)
 - ・「歴史文化セミナー」の企画(毎月1回開催、主催は近鉄文化サロン阿倍野)
 - ・「大和文化会」の企画(東京にて年10回講演会開催、主催は近鉄グループホールディングス 東京支社)
 - ・その他講演会、特別講座、現地見学会等の開催
- (3) 会員数 約1,700名(大和文化会会員を含む)
- (4) 会費等 年会費 普通会员 2,200円 家族会員 1,200円(入会時のみ入会金300円)
※家族会員は普通会员と同居の高校生以上の方に限ります。
※年会費は入会月より1年間有効です。(随時入会できます)

2. 月刊文化冊子『近畿文化』について(最近の掲載内容については、参考資料をご覧ください)

- (1) 発刊 昭和24年10月1日、『近畿文化通信』創刊(表裏印刷の2頁)
昭和25年3月の第3号より毎月発刊。増刊の第211号を含めて現在第799号
(昭和31年2月『近畿文化通信』から『近畿文化』に改名)
- (2) 発行日 毎月1日発行(現在はA4判 8頁~12頁)
- (3) 発行部数 2,700部(会員送付のほか、図書館・美術館・社寺等に寄贈)
- (4) 執筆者 考古学・建築史・美術史などの分野における専門家(毎号2名)

3. 近畿文化会主催の臨地講座について(最近の臨地講座の内容は参考資料をご覧ください)

- (1) 内容 『近畿文化』執筆講師が同行解説する、社寺・古墳などの文化財を訪ねる現地見学会
- (2) 参加者 近畿文化会会員、大和文化会会員
- (3) 回数 創刊当初より月2回開催、希望者多数の場合は再講座を実施
- (4) 見学先 貴重な文化歴史資源が集中する近鉄沿線を中心に近畿地方および中部地方
奈良県、大阪府、京都府での開催が多く、特に奈良県では全市町村で臨地講座を開催

《月刊文化冊子『近畿文化』800号発刊記念講演会の開催について》

『近畿文化』の800号発刊を記念して講演会を下記の内容で開催いたします。今回は、多くの方に近畿文化会の活動を知っていただけるよう、会員だけでなく一般の方も対象として講演会を開催します。

記

- (1) 開催日時 平成28年7月2日(土) 13時30分から16時20分頃まで
- (2) 開催場所 あべのハルカス25階 『ハルカス会議室』
大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目1-43
近鉄大阪阿部野橋駅、JR・地下鉄天王寺駅から徒歩すぐ。
- (3) 講演内容 (予定) 「飛鳥・藤原の新文化—音・香り・色—」
奈良県立橿原考古学研究所所長 菅谷文則 氏
「寺院建築における外国の影響—ギリシャ・韓国・中国—」
和歌山県文化財センター理事長 櫻井敏雄 氏
- (4) 募集人員 一般 100名
- (5) 受講料 一般 500円 (当日収受)
- (6) 申込方法 ハガキに参加される方の郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記の上、近畿文化会「記念講演会」S係までお申し込み下さい。

〒543-0001
大阪市天王寺区上本町6丁目5-13 上本町YUFURA7階
近畿文化会「記念講演会」S係
- (7) 申込締切 6月13日(月)必着
(申込多数の場合は抽選。当選者には、後日参加案内をお送りします)
- (8) その他 ・一般募集分と別に、受講料無料の近畿文化会、大和文化会の会員枠(150名)があります。
・講演会に関するお問い合わせ先
近畿文化会事務局 TEL:06-6775-3686

(参考)『近畿文化』800号(本年7月号) 執筆講師と掲載論文

京都橘大学名誉教授 猪熊兼勝氏「平安京の今昔」(仮題)
7月16日(土)臨地講座実施予定

奈良県立橿原考古学研究所特別指導研究員 泉森皎氏「鳥羽・伏見の史跡を訪ねて」(仮題)
7月24日(日)臨地講座実施予定

以上

《参考資料》最近の『近畿文化』掲載論文と「臨地講座」

『近畿文化』	執筆講師(敬称略)	掲載論文	臨地講座名	実施日
785号 平成27年 4月1日	元興寺文化財研究所主任研究員 佐藤亜聖	河内における西大寺流律宗集団	水野正好先生追悼講座 叡尊の歩んだ道 -大阪編-	12日
	奈良市埋蔵文化財調査センター所長 森下恵介	奈良奉行・川路聖謨と佐紀古墳群	菅原の里と佐紀古墳群	26日
786号 5月1日	橿原考古学研究所特別指導研究員 泉森皎	京都・伏見丘陵の古社寺と古墳	伏見丘陵の史跡と文化財	10日
	阪南大学教授 来村多加史	「大坂の陣」合戦地を巡る①	「大坂夏の陣」合戦地を巡る	31日
787号 6月1日	京都橘大学名誉教授 猪熊兼勝	飛鳥古墳の被葬者たち	飛鳥の王陵	7日
	京都工芸繊維大学准教授 矢ヶ崎善太郎	塔と楼閣 -京都駅周辺をめぐる-	塔と楼閣① -東寺と西本願寺-	21日
788号 7月1日	奈良県教育委員会文化財課 神田雅章	南大和の大日如来像	奈良県南部の大日如来	5日
	京都華頂大学教授 川島智生	滋賀県湖北にある昭和の名建築 -ヴォーリス・白井晟一の建築作品を中心に-	北琵琶湖の名建築	26日
789号 8月1日	大阪府文化財センター主査 駒井正明	京都の戦争遺跡② 舞鶴の戦争遺跡	京都の戦争遺跡②	8日
	和歌山県文化財センター理事長 櫻井敏雄	播磨の大仏様・折衷様の国宝建築	播磨の国宝建築をめぐる -朝光寺・浄土寺・旧古井家住宅-	30日
790号 9月1日	吉野歴史資料館長 池田淳	水源地からたどる吉野川の役割	水源地からたどる吉野川の役割	13日
	橿原考古学研究所長 菅谷文則	郡山城の歴史と変遷	郡山城下を歩く	27日
791号 10月1日	天理参考館特別顧問 松田真一	五條の古墳と遺跡	五條の古墳と遺跡	11日
	柏原市教育委員会文化財課 石田成年	南海高野線の鉄道構造物とその周辺	南海高野線の鉄道遺産 -橋本から高野山-	25日
792号 11月1日	関西大学講師 天野忠幸	河内堅上と竜田古道	河内堅上と竜田古道 -柏原市本堂・雁多尾畑・菅谷を行く-	15日
	元興寺文化財研究所副所長 狭川真一	巨大磨崖仏をたずねて	巨大磨崖仏を訪ねて	29日
793号 12月1日	奈良女子大学教授 武藤康弘	高田の亥の子暴れ祭	桜井市高田の亥の子暴れ祭	6日
	橿原考古学研究所特別指導研究員 泉森皎	木幡と伏見・桃山丘陵を歩く -宇治川右岸の社寺と古跡-	桃山丘陵の史跡と文化財	20日
794号 平成28年 1月1日	皇學館大学教授 岡田登	斎宮跡とその周辺を巡る	伊勢外宮参拝と斎宮跡をみる	10日
	天理参考館学芸員 梅谷昭範	天理教の聖地「おちば」 -教祖百三十年祭によせて-	教祖百三十年祭 天理教 -教祖ゆかりの地を訪ねる-	17日
795号 2月1日	京都橘大学教授 一瀬和夫	高安千塚古墳群 -服部川支群にあるブランクゾーンと最近の調査から-	八尾市の高安千塚古墳群	7日
	奈良大学教授 関根俊一	洛西の仏像(二)	洛西の仏像(2)	14日
796号 3月1日	京都華頂大学教授 川島智生	近鉄沿線の建築⑩ 奈良市の近代和風建築	奈良市の近代和風建築	5日
	阪南大学教授 来村多加史	「大坂の陣」合戦地を巡る② -上町台地を歩く-	「大坂の陣」 -上町台地を歩く-	27日
797号 4月1日	天理参考館特別顧問 松田真一	平群谷の古代史と遺跡	平群谷の古代史と遺跡	10日
	奈良市埋蔵文化財調査センター所長 森下恵介	斑鳩の里をめぐる	斑鳩の寺と古墳	17日
798号 5月1日	氷室神社文化興隆財団代表理事 大宮守友	なら氷室社の創建と平城京	大和の氷文化	15日
	京都工芸繊維大学准教授 矢ヶ崎善太郎	塔と楼閣② -大徳寺と醍醐寺を訪ねて-	塔と楼閣② -大徳寺呑湖閣と醍醐寺-	29日
799号 6月1日	奈良県教育委員会文化財課 神田雅章	再興された大和の仏像	修復された仏像	5日
	元興寺文化財研究所主任研究員 佐藤亜聖	大和における西大寺流律宗集団	叡尊の歩んだ道 -大和編-	12日

※ 臨地講座の実施日は、すべて『近畿文化』の発行月と同月になります。